

第4回 危険なものほど魅力的？（その2）

今回は商品取引を行なう以前での重要なポイントをチェックしたいと思います。これらの基本的な条件をクリアしなければ、むしり取られるだけむしり取られてしまいます。

I 市場の健全性

健全ではない市場では、“仕手戦”に巻き込まれてしまう可能性があります。特に乾繭・生糸・小豆といった国内産の商品には問題があります（前科もあります）。それに比べてトウモロコシ・輸入大豆・コーヒー・金・銀・アルミニウム・ガソリンなどの国際的な市況品は、規模が大きく仕手化する可能性はほとんどありません。ただし世界的に取引されるため、為替の影響も考えなくてははいけません。

II 市場の流動性

十分な流動性が確保されていないと、自分の好きな価格で売買することができません。1日あたりで5,000枚以上（単位）上の売買がある安定した商品を選ぶようにしましょう。代表的なものに、トウモロコシ・大豆（全般）・コーヒー・金・ガソリンなどがあります。

III 手数料などの証券会社のサービス

先物の手数料は、かつての株式同様固定手数料制でした。しかし金融ビッグバンの影響を受けて、証券会社間による壮絶な手数料の引き下げ合戦が始まりました。それは株の手数料以上に、北辰物産（294円）、三晃商事（314円）、アイメックス（定額制、69,800円の会費を払えば105円）など、以前の十分の一から百分の一といった価格で取引できるようになりました。

またもう1つ重要なのは取引形態です。「セルフ」と「サポート」の2つがありますが、これは「営業マンからの“情報提供”の有無」を指します。もちろん問答無用で営業のない「セルフ」を選びましょう。それでも頻繁に電話がかかってくるようでしたら、別の証券会社と契約をした方がいいです。

参考 ALL 先物比較 <http://www.allsakimonohikaku.jp/index.php?id=cx008>

参考文献 『大投資家ジム・ロジャーズが語る 商品の時代』（2005） 日本経済新聞社

ジム・ロジャーズ（著）、林康史・望月衛（訳）

『インターネット株式投資入門 [デリバティブ編]』（2001） メディアワークス

海外投資を楽しむ会（著）